

第3号様式

令和8年度 第3回 高根台公民館運営審議会会議録

1 開催日時

令和8年6月17日(水) 午後1時33分～午後2時50分

2 開催場所 高根台公民館 4階 第4集会室

3 出席者

(1) 委員 今野委員長、丹羽副委員長、中澤委員、長濱委員、清水委員、
吉村委員

(2) 事務局 高根台公民館長、夏見公民館長、高根公民館長、新高根公民館長
高根台公民館長補佐

4 欠席者 荒木委員

5 議題及び公開・非公開の別並びに非公開の場合にあっては、その理由

「公開」 (1) 事業報告(4月1日～6月16日)

(2) 事業計画(6月17日～9月15日)

「非公開」 (3) 社会教育関係団体の登録申請

*理由: 船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)
を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため

6 傍聴者 なし

7 決定事項

(1) 事業報告(4月1日～6月16日) 承認

(2) 事業計画(6月17日～9月15日) 承認

(3) 社会教育関係団体の登録申請 承認

8 議事 次ページより

9 資料・特記事項

(1) 資料 別添のとおり

(2) 特記事項 次回 令和8年9月16日(水) 午後1時30分から
高根台公民館 4階 第4集会室にて開催予定

10 問合せ先 高根台公民館 電話047-461-7061

令和 8 年度 第 2 回 高根台公民館運営審議会 議事録

日 時	令和 8 年 6 月 1 7 日（水） 午後 1 時 3 3 分～ 2 時 5 0 分
会 場	高根台公民館 4 階 第 4 集会室

午後 1 時 3 3 分 開会

○事務局（高根台公民館長補佐）

それでは、ただいまから令和 8 年度第 2 回高根台公民館運営審議会を開催いたします。

本日の欠席委員でございますけれども、荒木委員が都合により欠席されております。本日の審議会は、7 名中 6 名のご出席をいただいております。船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 3 項の規定によりまして、過半数以上の委員の出席がございますので、当審議会は成立いたします。

また、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第 26 条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開となります。

なお、今日の傍聴人はおりません。

それでは、議事に入ります。議事の進行につきましては、船橋市公民館条例施行規則第 15 条第 2 項の規定により、委員長が議長となります。今野委員長、議事進行をお願いいたします。

○今野委員長

それでは、次第に沿いまして議事に入ります。

各公民館の 4 月 1 日から 6 月 16 日までの事業報告を、高根台公民館から順次お願いいたします。

○高根台公民館長

よろしくお願いいたします。

まず初めに、第 1 回の様式 4 における地域課題（2）で記載いたしました「従来型フィーチャーフォンの製造中止」箇所について、前回の運営審議会で丹羽委員よりご指摘いただきましたとおり、その部分を削除いたしました。

では、事業報告をいたします。4 月 1 日から 6 月 16 日です。

まずは、「空き部屋開放事業」です。中学生、高校生が利用しており、主に高根台中学校の生徒さんが多いですが、最近は高校生の方が夜間に見えることも増えています。6 月 1 日から 16 日までの利用人数の記入をお願いします。こちらは 37 人でございます。

続きまして、高齢者事業の「ゆりの木大学」と「シルバーリハビリ体操」を実施しました。参加人数は記載のとおりです。「ゆりの木大学」では、徳洲会病院内に事務所を置いております高根台在宅介護支援センターの所長による健康づくりや栄養に関する講話と、介護予防につながる体操を行い、皆さん熱心に聞き入っていました。

次のページです。女性対象の事業としまして、「高根台婦人学級」です。1 回目は「大人のリトミック」を行いました。リトミックというと子供のものと思われそうですが、高齢者のために無理のない内容で考えられており、楽しみながらリズムに合わせて動いたり、参加者同士がコミュニケーションを取りながら、筋トレ・脳トレのような感覚で楽しみました。

その他の事業として、高根台子育て支援センター、高根台児童ホームと共催で、「子育て

講座『にこにこワイワイ子育てキャンパス』を実施しました。1回目は、5月26日にヨガ教室を実施しました。保育つきで実施し、お母さんのリフレッシュの一助になったと思います。2回目は、6月16日にリトミックを行いました。こちらは親子で行ったものです。16日の参加人数は、15組、31人となっています。

次に、「地域防災・防犯講座」の避難所運営講座です。6月11日に全3回のうちの1回目を実施しました。今回は避難所をどのように運営するのかに焦点を当て、実際に運営を行うために必要な知識を3回にわたって学びます。地域の町会の方も多く参加していただき、真剣に講師の話に聞き入っていました。

最後に、「社会教育関係団体登録説明会」は、例年より早く4月21日に開催しました。今年度から中間年に提出いただく書式が簡素化され、その説明と、文化祭の参加申請などについて説明を行いました。

高根台公民館からは以上です。

○今野委員長

ありがとうございました。

次に、夏見公民館さん、お願いいたします。

○夏見公民館長

夏見公民館の4月1日から6月16日までの事業報告をさせていただきます。よろしくお願いします。

まず初めに、「ふなばしハッピーサタデー」になります。4月26日（日）は、毎年恒例の「なつみ子どもフェスタ」が、晴天の下、多種多様な参加団体が様々な催しで世代を超えた多くの参加者を迎えて盛大に開催されました。会場には子供たちの歓声が響きまして、各団体の皆様も終始笑顔で、日頃の成果を生き生きと披露する様子を見せて、私たち主催者と参加者がそこかしこで親しく挨拶を交わす様子をご覧になった市長代理の生涯学習部長と教育長も大いにお喜びの様子でした。これは夏見地域が長年にわたってつくり上げてきた誇るべき気質であり、もはや風土として根づいている証ではないかということをお伝えしたところ、大いに賛同されておりました。公民館も地域の一員として受け入れていただけることに改めて深く感謝した一日でもありました。

次に、5月23日は、いつも当館の運営に多く貢献をしていただいております生涯学習コーディネーターの皆様が主役となりまして、当館では初めてのハピサタでの昔遊び、そして、船橋に伝わる昔話を語っていただく事業を開催いたしました。これに当たり、子供だけではなくご家族の参加を呼びかけ、3世代がそろって和やかに楽しむ場となりました。前半の昔遊びでは、講師のおはこであるけん玉、こま回し、紙鉄砲、折り紙、お手玉、おはじきなど、子供たちは珍しい昔の素朴な遊びに興じておりました。中には講師よりもうまい子供が現れて、講師や祖父母の皆様からも「幼少期の風景を思い出す」との声が上がっていました。後半の昔語りは、元小学校教諭であるコーディネーターさんが、船橋に伝わる民話を中心に、大変味わい深く表現豊かな語り口調で物語を語るとともに、手話の普及に尽力するボランテ

ィアさんに一緒にお手伝いをいただきまして、同時に手話通訳を行いました。皆とても熱心に目と耳で楽しんで、最後は皆で手話をしながら懐かしい唱歌を歌って、大変意義深く、記憶に残るひとときになったのではないかと思います。

次に、「ふなばしシルバーリハビリ体操」につきましては割愛させていただきまして、「夏見寿大学」に進みます。今年度も定員 80 名で募集を開始し、反響を見ながら 100 名までをめどに進めていましたが、最終的には 110 名で募集を終了して開講式を迎えました。これだけ多くのお申込みをいただけるのも、魅力的な講座を提供していただく講師の皆様のおかげだと思っております。

5 月 14 日は、開講式に続きまして、埋蔵文化財調査事務所の考古専門職員を招きまして、弥生時代の出土遺跡から読み解く時代背景を語っていただきました。市内では発掘事例が少ない弥生時代の遺構ですけれども、夏見では特徴が異なる遺跡・遺物が見つかっておりまして、そこから読み解かれる社会的な背景、人々の生活を詳しく語っていただきました。併せて、貴重な発掘品もご持参いただいて、私たちの足元に広がる先人たちの日常に思いをはせておりました。

6 月 11 日は、船橋警察署の生活安全課、交通課、そして市民安全推進課を招きまして、「交通安全と防犯教室」を開催しました。参加人数をお伝えします。84 名になります。ますます巧妙となる詐欺やトクリュウの被害に遭わないために、新たな手法などを具体的な事件を交えて分かりやすく伝えていただき、日常に潜む思いもよらない詐欺の怖さを改めて皆で確認しました。また、新たに導入されました自転車の青切符にも触れていただきまして、ヘルメットや反射材の装着を強く勧めていただくことに始まり、自転車のルール of 要点について図解を交えながら熱心にご指導いただき、盛んな質疑応答もございました。

次に、「介護予防教室」に進みます。初めに、6 月 10 日の参加人数をお伝えします。15 名になります。本市の健康づくり課との共催として、本年度は第一興商が 2 年ぶりに受託をしました。当初 6 月 3 日を第 1 回としておりましたが、先般の台風 6 号の接近で中止となりまして、2 回目以降を繰り下げて、最終の第 4 回を 7 月 1 日に振り替えるということを急遽行いました。既に多くの自治体や高齢者施設で実績のある同社の講座ですけれども、映像と体操を組み合わせた理解しやすく親しみやすいコンテンツは以前よりもさらに進化して洗練されておりまして、事業の在り方や取組への姿勢としても我々が学ぶべき点が大変多いと感じております。

次に、「みんなで楽しく健康体操」に移ります。こちらは夏見地区のスポーツ推進委員との共催で行っております。参加者をお伝えします。18 名です。詳細は評価をご覧いただければと思いますが、当事業は地区社協のミニデイのようにクールダウンと交流を兼ねた茶話会を取り入れており、好評をいただいております。

次に、その他に移ります。「モルック体験会」です。こちら、さっきと同様、夏見地区のスポーツ推進委員との共催事業として行っております。

なお、今年度、県立船橋夏見特別支援学校を会場として、生徒や地域の皆様方が集ってユ

ユニバーサルスポーツ大会を開くことを、県立夏見特支さん、スポ推さん、そして公民館の3者で意気投合し、実施に向けて話し合いを進めております。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、県立夏見特支のボッチャのチームは全国優勝を何度もしている強豪です。なので、我々が逆に胸を借りに行くような形で楽しいひとときが過ごせるのではないかと今からわくわくしております。

次に、「シネマなつみ」に移ります。今年度も年間のテーマを考えまして、限られた映像資産の中からこだわった作品を12か月選定いたしました。開始から5年目を迎えた当事業ですけれども、シネマをきっかけとして様々な事業にご参加いただく方も多くなり、単なる上映会にとどまらない大切な機会として育てていきたいと思っております。

次に、「学習フリースペース・空き部屋開放事業」に移ります。6月1日から6月16日までの人数をお伝えします。小学生18名、中学生7名、高校生32名、その他14名、合計71名となります。こちらも最近では高校生の利用が飛躍的に伸びました。そして、以前でしたらせいぜい20〜30名というところでしたけれども、最近では100名を超える方のご利用もいただいております。地域の中でやはりこちらも必要とされている事業ではないかと実感しております。

「社会教育関係団体登録説明会・夏見公民館利用団体連絡協議会総会」に移ります。こちらは、先ほど高根台公民館のほうからもお話がありましたけれども、取扱いが変わったことによる混乱を防ぐための説明を手厚く行いました。そして、総会では、解散や拠点変更で社教団体の数が大きく減となった影響は確かにあるけれども、逆に柔軟な発想で大きな変化を取り入れる機会と捉えて、皆で知恵を絞り、公民館まつりをよいものにとの議題があって、頼もしい限りだと感じました。

最後に、公民館だより「なつみ」につきましては、お手元のほうに配付させていただきましたので、ご覧いただければと思います。

夏見公民館からは以上になります。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは、高根公民館さん、お願いいたします。

○高根公民館長

高根公民館です。同じく4月1日から6月16日までの事業を報告いたします。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」では、5月23日に「子ども卓球教室」を開催いたしました。当館の社会教育関係団体であります卓球部「昂」の会員を講師に迎え、9名の参加がありました。

次に、「こども自然観察会」です。こちらは昨年度は9月に開催いたしましたが、残暑が非常に厳しかったことから、今回は5月10日に開催いたしました。季節を変えたことで、快適な気候の中、春の草花を多く見ることで、子供も楽しめる事業ではあったものの、今回も親子1組と参加者数が少なかったことから、来年度は対象者を広げるなどの工夫が必

要と考えているところです。

次は、「青少年向け卓球開放」です。5月9日に開催しました。参加者は4名でしたが、何度も参加している子供達であったことから、今回もとても楽しんでおりました。

次の「空き部屋開放事業」は、2か月間の合計が延べ12名となっております。

続きまして、成人の事業です。「リラックスヨガ講座」は、今年度は改修工事の関係により全部で2回になりました。腹式呼吸や自律神経のバランスをよくするヨガについて学んでおります。

次の「ベトナムの食卓へようこそ！～ベトナム家庭料理体験～」は5月9日に開催し、参加者は10名でした。家庭料理を3品作れたことで、参加者のほとんどが講座に満足しており、「家庭で作ってみたい」、「次回も開催して欲しい」などの高評価を得られたものになりました。

続きまして、「家庭でもできるそば打ち講座」は5月23日に開催し、参加者は12名でした。家庭にあるものを利用して作ることで、こちらも先ほどと同様、参加者のほとんどが講座に満足しておりまして、「家庭でも楽しみたい」、「次回も開催してほしい」との声が出ております。

次の「一般向け卓球開放」は6名の参加者があり、今回も交流を図る場となりました。

続きまして、高齢者事業です。「高根シルバーリハビリ体操」と「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は記載のとおりです。

続きまして、その他の事業です。「ふれあいサロン“ほほえみ”」は記載のとおりで、地域住民の触れ合いの場となっております。

その次は「太鼓コンサート『鼓粋～高根太鼓祭』」です。高根公民館は太鼓サークルが多いという特徴がありますので、高根公民館の太鼓サークルに出演していただき、毎年開催しているものです。今年度は、改修工事のため、4月19日に開催いたしました。今回は1団体増えて4団体に参加していただき、来場者95名のうち90%以上の方が満足するなど、大変好評でした。

次の「高根・金杉地区グラウンドゴルフ大会」は、昨年度は残念ながら雨天中止となってしまうけれども、今回は5月16日に開催しました。当日は晴天にも恵まれ、参加者の53名は大いに盛り上がり、けがなく無事に終えることができました。

「社会教育関係団体登録説明会」は、4月18日に実施いたしました。現時点での登録団体数は30となっております。

最後に、公民館報「たかね」は6,700部作成いたしました。本日、お手元に資料としてお渡ししておりますので、後ほどご覧ください。

事業報告は以上となります。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは、新高根公民館さん、お願いいたします。

○新高根公民館長

新高根公民館の事業報告をさせていただきます。

まず、「ふなばしハッピーサタデー」の「勾玉づくり」は、市の飛ノ台史跡公園博物館の職員の方に講師をお願いしまして実施いたしました。18名全員の参加をいただきました。軟らかい滑石を紙やすりで削る作業では、かなり細かい粉が舞うということでしたので、当館に屋根つきの公用車の駐車場がございまして、屋外を会場として作業をいたしました。削り終わった石を磨き上げて完成となりますが、子供たちは集中してぴかぴかの作品をつくることができ、皆さん首から下げて大変満足そうでした。今回は屋外での実施となったため、生涯学習コーディネーターの方に見守りという形でご協力をいただいて、安全に行うことができました。

次に、「空き部屋開放事業」の参加人数を申し上げます。6月1日から6月16日は30名でございました。

次に参ります。「中国国際交流講座 工作 剪紙」です。計画のときにご覧いただきましたけれども、募集後早めに定員に達した人気の講座でした。当日は欠席者ゼロで、なかなかいいことだったので、こちらも大変驚いておりました。紙を切る作業もとても熱心に集中していっていましたが、アンケートの結果で多かったのが、「冒頭の中国の文化紹介がとてもよかった」というご意見でした。また、改善すべき点として、「時間の設定が短過ぎた」ということが挙げられました。今後の事業に生かしていきたいと思っております。

次に、「ベトナム料理教室」です。「ベトナム料理教室」も定員に達した事業です。参加人数は11名でございました。「ブン」がビーフン、「カー」が魚という意味ということで、汁の中にビーフンが入っていて、その上にカリカリに揚げた魚がトッピングされているという料理でございました。こちらは、甘みと酸味のバランスが取れたブンカーを皆でつくって食べることができました。食べている間に簡単なベトナム語を学ぶなど、多文化共生の一助となる事業が展開できたのではないかと考えております。

次に、高齢者対象の「新高根福寿大学」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」、「ふなばしシルバーリハビリ体操 in しんたかね」、そして、つけ足した資料のほうの14ページになります「介護予防講座『かんたん体操』」、さらに、「新高根老協支援事業」につきましては、記載のとおり実施をすることができました。空欄となっております参加人数を申し上げます。「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の6月2日は45名の参加です。その次の「ふなばしシルバーリハビリ体操 in しんたかね」の6月16日は52名の参加です。そして、14ページになりますが、「かんたん体操」の6月8日は20名、6月15日は17名の参加をいただきました。

続きまして、「今からはじめる！スマートフォン体験講座（入門編）」になります。申し訳ございません、参加人数の訂正をお願いしたいと思います。「16名」と記載されていますが、こちらは14名が正しい人数でございます。大変失礼いたしました。今回はまさに入門編対象の皆様にご参加をいただきました。デジタルデバйд対策の一助となったのではないかと

と思っております。

続きまして、その他です。「おはなしの部屋」の6月16日につきましては、4組のご参加をいただきました。

次の「新高根ふれあいウォーク」です。こちらは24名の参加をいただきました。さらにスタッフが18名いらしていただいて、私も参加させていただいて、総勢43名の大所帯で御滝不動尊や金杉緑地など7.5キロを歩いてまいりました。

こちらの事業は、昨年度は天候不良により実施できなかった事業でしたので、実施できてよかったなと思っております。近場の散策ではあったのですが、「ふだんの散歩ではなかなか回らないコースを歩いてよかった」というお声をたくさんいただきまして、新しい発見に喜んでいただくことができました。

そして、「社会教育関係団体登録説明会」です。こちらにつきましても、申し訳ございません、「47団体」と記載しておりますが、38団体の方々にご参加をいただきました。失礼いたしました。

新高根公民館は以上です。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは、この事業報告につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。何かございますか。

はい、どうぞ。

○中澤委員

私はちょっと勉強不足で、質問ですけれども、全般にわたって、それぞれの公民館さんがいろいろ工夫されて苦労されているいろいろな事業を開催されていると思います。こうやって聞いていると、すごい経歴を持っている方とか、いろいろな工夫をされながらいかに楽しくやっていくかという講師の方なり館長さんのご苦労が手に取るように分かります。

同じようなことはやってはいけないということではなく、逆に、ここの地域はこういうことをやって、それを他の地域でもやってもらいたいなど。手話をやった夏見さんとか、交流を深めるためにやったいろいろなところのものなど、こういうことを聞いていると、聞き逃したなとか、都合が悪かったなということがほかのところでもあると思うんですね。だから、公民館同士の情報交換というのでしょうか、この方はよかったよとか、そういうことはされているんですか。私はちょっと分からないのですけれども。いつも発表されていてすばらしい講演会をやっておられると思うのですけれども、そういう中で、お互いの公民館さんで、これはうちではやっていなかったけれども、同じ先生を呼んでやってみようとか。地域によって行けないときもあるわけですね。内容がもったいないなど。もっと広げたらいいのではないかなと思うので、自分のところでもやってもらいたいというものがあったら、それこそ同じ講演会でも、同じ内容でも、参加する人が違えば非常にいいのかなと今感じていますけれども、その辺のところはどういうふうに行われているのか。

○夏見公民館長

今、委員からお話のありました件につきましては、まず、社会教育課のほうから、毎年講師の一覧、こういった条件でこういった方がお受けになるよというものを資料として我々のほうに提供があります。

それと併せて、私たちがとても大事に見ているのが、各館が一年間どのような事業をやったのかというものが、生涯学習部事業の一覧として公表されて、そのまとめの資料が配付され大変参考にさせていただいています。

○中澤委員

評価が非常にいいものとか、そういうものを何回もやってもらいたいなど。専門家の人が見れば、どういう講師が公民館にはいいのかということが分かると思うので、それぞれのところで1回だけで終わらないで、あっちでもこっちでも、同じことでもいいんですけども、やってもらえたらいいなという感じはします。

○夏見公民館長

興味を持つと、そこから公運審の議事録を見て、どのような様子だったのか、委員の皆様からどのようなお言葉があったのかというのも参考にさせていただいて、選ぶときには大いに参考にしています。

○中澤委員

そうですか。分かりました。

○今野委員長

ほかにはいかがでしょうか。

○清水委員

一つ質問していいですか。

○今野委員長

はい、どうぞ。

○清水委員

空き部屋開放で小学生から高校生辺りまで勉強しているというお話で、すばらしいと思っています。これは、要するに自習みたいな形でやるわけですね。どなたかが教えるというか見てくださるというわけではなく、子供たちが自主的に学習するスペースの確保ということでやられているということですね。

○高根台公民館長

空き部屋開放事業につきましては、お一人やグループで来て、空いているお部屋にそれぞれ入っていただいて、自主的に勉強していただくという形で、講師などがいるわけではございません。

○清水委員

なるほど。小学生辺りでもちゃんと静かに勉強をやっているんですね。

○高根台公民館長

そうですね。小学生は比較的少ないですけども、お友達と2人で来たりして、宿題のようなものをやっているのかなと思います。

○清水委員

ありがとうございます。

○吉村委員

関連していいですか。空き部屋の関係で、私は新高根公民館なんだけれども、子供たちへの場所の提供ですよね。中学生とか高校生もいるのですか。時たまロビーのテーブルのところで勉強している子供たちも見かけるけれども、あれも空き部屋開放の一つなんですか。部屋がないときにはそっちでもやるとか。

○新高根公民館長

まず、図書室にも勉強する机はありますが、それ以外に空き部屋を提供したり、おっしゃるとおりロビーでやっている方もいます。お部屋よりもロビーを希望される学生さんもいらっしゃるんですね。それでいろいろなところでお見かけになるのかなと思います。

○中澤委員

新高根公民館はロビーでやる常連さんがいますね。

○新高根公民館長

いらっしゃいます。大人の方ですね。

○中澤委員

民謡と重なっているけど。

○新高根公民館長

それがいい感じなのではないですかね。

○高根台公民館長

ロビーは大人も使えるので、そちらで勉強される方などもいらっしゃいます。

○吉村委員

どこでも勉強しようと思えばできるはずだけれども、静かなところでやりたい子と、がやがやした中で勉強したいとか、いろいろありますものね。それぞれ自由にどうぞとやってあげれば。

○今野委員長

ほかにはいかがでしょうか。

ほかにご質問等がなければ、各公民館からの4月1日から6月16日までの事業報告について、承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○今野委員長

ありがとうございます。では、事業報告を承認いたしました。

次に、各公民館の6月17日から9月15日までの事業計画について、高根台公民館からお願いいたします。

○高根台公民館長

それでは、6月17日から9月15日までの事業計画についてご説明いたします。

まずは、青少年事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。6月20日に「子ども工作教室『レジンのキーホルダー作り』」を行います。7月24日は「夏のお楽しみ会」、8月4日は「夏休みものづくり教室」として「羊毛フェルトのがま口づくり」を行います。「レジンのキーホルダー作り」は、液状の樹脂を固めてプラスチック状の固体にして、中にきらきらしたものを入れたり上に字を書いたりして、キーホルダーのようなものをつくるという工作を予定しております。

次に、「こども陶芸教室」です。高根台公民館の陶芸サークルの連絡協議会に講師をお願いし、全2回の講座として実施します。現在募集期間中ですが、既に多数の申込みがあり、抽選で参加者を決定いたします。

次に、「読書感想文の書き方講座」です。こちらは全3回で実施いたします。対象は小学校3・4年生となっています。夏休みの宿題である読書感想文の書き方を丁寧に教えていただけるので、例年人気の講座です。

2ページ目、「高根台宇宙の学校」です。親子で協力して工作や実験を行う、夏休みにぴったりの講座です。毎年人気が高く、午前・午後とも親子20組で、抽選により参加者を決定いたしました。地域の方を講師として、親子のコミュニケーションを大切にしながら、科学に興味を持つきっかけとなるような本格的な講座です。

次に、「オリジナル4コマ漫画講座」です。小学4年生から6年生を対象に、イラストレーターのU-sukeさんを講師に迎え、子供たちに漫画の描き方を教えていただきます。初めての講座になるため、どのように子供たちが作品を描いていくのか楽しみです。

「空き部屋開放事業」は通年の事業となっております。

次に、成人事業です。「高根台今日用と今日行く講座」です。全3回で、9月8日が1回目となります。今年は環境問題をテーマに、今何ができるのか、学習を深めていきます。

次に、高齢者事業です。「ゆりの木大学」の6月はコンサートです。本日の午前中にちょうど行ったところになります。報告は次回になりますが、ファゴット、ピアノ、オーボエの演奏を楽しみました。7月には、みんなが知っているラジオ体操を一級指導士の佐藤早苗先生にご指導いただきます。

4ページに「介護予防教室」がございます。また、「デジタルデバイド対策講座」を今年度も実施いたします。

女性講座は「高根台婦人学級」です。健康に関することや、在宅サービスなど介護に関することを学んでいただきます。

その他の事業ですが、「子育て講座『にこにこワイワイ子育てキャンパス』」、「地域防災・防犯講座」は記載のとおりになります。

「中学生ボランティア養成講座」は、船橋市社会福祉協議会と共催で、南部地区は中央公民館、中部地区は高根台公民館と共催するものです。中学生の皆さんにボランティアを体験

していただき、興味を持っていただく内容になっております。

次のページになります。「たかね台歌の集い」は、6月と12月に団体と共催で実施します。皆さんでいろいろな歌を歌い、声を出すことで、心と体の健康づくりに役立てればと思っております。

最後に、公民館報ですが、年3回の発行を予定しており、7月初旬の発行を目指しております。

高根台公民館は以上です。

○今野委員長

ありがとうございました。

夏見公民館さん、お願いします。

○夏見公民館長

それでは、引き続きまして、夏見公民館の事業計画をお伝えいたします。

まず、青少年の「ふなばしハッピーサタデー」になります。夏休み時期に重なりますことから、たくさんの事業を用意しております。地域にすっかり根づきました館内の七夕飾りは、飾りつけが終わりまして、昨日から既に短冊がかけられております。そちらに合わせまして、7月4日には「七夕かざりとうちわ作り」を今年度も実施いたします。毎年地域の皆様が300枚を超える短冊に様々な願いを託しており、今年もにぎわいを見せてくれることと思います。

同じく7月には、飛び箱、鉄棒、マット運動などが苦手な子供たちが楽しみながら自信をつけて苦手を克服してもらおうと、毎年開催しております「器械体操体験会」を実施いたします。あえて苦手な運動に自らチャレンジする子供たちですけれども、丁寧な指導と励ましを受けて、達成したときの喜ぶ姿や表情というのはとても輝いて見えます。

夏休み期間に重なる地域のイベントとしまして、夏見台中央公園で3日間にわたり開催されます盆踊りで子供たちに輪踊りを楽しんでもらおうと、今年度も、7月30日に、当館サークルの協力を得まして「盆踊り体験練習会」を開催いたします。こちらは、地域としましては長濱委員、そして、講師としましては清水委員にもご協力いただきますので、またどうぞよろしくお願いいたします。

そして、8月22日には、初めての試みですが、アースドクターふなばし、生涯学習コーディネーターとの共催で「夏休みエコ講座・工作会」を計画しております。

9月12日から13日にかけては、こちらも地域の恒例行事でございます「八栄小学校宿泊体験会」を、八栄小学校お父さんの会を中心にしまして、地域の多くの方々が参画して実施します。子供たちは楽しみながら防災を学び、共同生活の中で地域の一員としての自覚を育んでくれることと思います。

次に、「ひまわり幼稚園父母の会家庭教育セミナー」です。当館では、例年、八栄小学校PTAとひまわり幼稚園父母の会からの求めに応えましてこちらを開催しておりますけれども、この第1回として、ひまわり幼稚園さんのほうでは「ピラティス講座」を実施します。日頃の家庭の育児の悩みや慌ただしさから離れて、同じ環境にある保護者間の交流を深めて心身

の健康を得られることを期待しています。なお、八栄小学校 PTA につきましても、実施に向けて準備を進めております。

次に、高齢者事業に移ります。「ふなばしシルバーリハビリ体操」の健康づくり課主催回、夏見公民館主催回につきましても、既出ですので割愛いたします。

次の「はじめてのスマホ教室」は、デジタルデバイド対策の一環として継続開催しておりますけれども、今年度はソフトバンクのみの開催となりました。当館では、デジタルデバイドの解消には切り捨てられがちながくごく初心者の方への扉を開き続けることが大切であるということが、日頃のスマホコンシェルジュの取組でも明らかであると考えておりまして、状況を注視しながら初心者向けの講座の継続をこれからも考えております。

次に、「介護予防教室」ですが、こちらも既出ですので割愛いたします。

次に、「夏見寿大学」に移ります。7月につきましても、県の保険医協会の協力を得まして、「地域のお医者さんに聞く健康講座」を実施いたします。地域の地元の開業医の先生に講師に来ていただくということで、大変熱心で丁寧な講義を毎年いただいています。身近なお医者さんということもあって、参加者の方々も質疑応答が本当に止まらないぐらいですが、その時間も含めてしっかりとお取りいただいておりますので、今回も皆さん大変楽しみにされています。9月は、長らく各所でボランティアとして活躍されております千葉マジックサークル様を初めてお招きしまして、「夏見マジックショー」を開催いたします。寿大学では初開催ですけれども、毎年子どもまつりにご参加いただいておりますので、大いに盛り上げていただいております。きっと参加者の皆様も非日常のひとときを心から楽しんでいただけたと思います。

次に、その他に移ります。「親子 DE リトミック」につきましても、夏見児童ホームとの共催で、同ホームを会場として開催します。親子で音楽から想起される色や動きを通じてリラックスしながら触れ合い、愛情を深めるひとときを過ごしていただきます。また、通い慣れた児童ホームを会場としまして、不安定になりがちな保護者の心を癒し、共感できる仲間づくり、穏やかな気持ちにつながることを願っております。

次の「シネマなつみ」につきましても、既出のため割愛いたします。

その次が、「夏見南部自治会共催防災イベント」になります。毎年自主的な防災訓練を継続している団体が多い夏見地区ですが、夏見南部自治会様も同様でして、求めを受けまして、地域にある防災拠点である公民館を会場とした訓練をしたいという要望から始まったのが当事業です。今年で私が着任した翌年から4回目を迎えます。防災訓練にとどまらない地域の交流の機会として広く参加者を募り開催しており、当館は共催として支援・協働に努めております。地域力向上への理想的な姿としては、防災拠点と地域が連動し、自治会、住民と行政が平時から良好な関係を築くことが大変重要であります。その継続に当たって、防災関係の部署や危機管理に携わってきた者として、また、地域の一員である公民館を預かる者として、知識と経験を地域に還元して、地域と行政をつなぐことに努めてまいりたいと思います。

次に、「学習フリースペース・空き部屋開放事業」につきましても、既出のため割愛いた

します。

また、公民館報「なつみ」につきましても、既出のため割愛いたします。

夏見公民館からは以上になります。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは、高根公民館さん、お願いします。

○高根公民館長

高根公民館です。

最初に、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」は、7月29日に「飛ばしてみよう 空気ロケット」を実施いたします。今回は、先ほど夏見でも出ていましたけれども、アースドクターふなばしを講師に招いて、地球温暖化の話、クイズ、アニメ鑑賞とともに空気ロケット作りを行います。

次に、高齢者事業です。「高根シルバーリハビリ体操」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」は、改修工事により今年度末まで高根公民館を使用することができないため、6月以降は旧金杉台中学校の武道室に場所を移して開催いたします。

次のページに行きまして、今年度2回目の公民館報「たかね」は、9月の発行を予定しております。

今申し上げましたとおり、6月から高根公民館は工事により休館となっております。夏につきましては、やはり拠点がないということで講座がなかなか行えない状況になっておりますけれども、秋以降になりましたら、外に出向いて皆様と一緒に体験するような講座を考えておりますので、次回はもう少し内容が盛り込まれるかと思います。

高根公民館からは以上です。

○今野委員長

ありがとうございました。

それでは、新高根公民館さん、お願いします。

○新高根公民館長

新高根公民館の事業計画について、新規事業を中心に説明をさせていただきます。

まず、「ふなばしハッピーサタデー」ですが、こちらは、卓球、一輪車と、毎年行っている内容です。そして、9月12日は「みんなで学ぼう環境講座」ということで、各館で大変人気ですが、アースドクターふなばしに講師を依頼し、ソーラーヘリコプターをつくる内容となっております。

次の「小学生電気工作教室」は、こちら昨年にも引き続いて同じ内容で開催をするものですが、1・2年生については、ちょっと難しい内容もありますので、定員を少し減らしたり、内容を少し縮小したりする予定です。

次、新規事業になりますが、「カードクリエイターになろう！～手作りカードゲーム～」です。カードを自分で描いてつくって、そのカードを含めてカードゲームをしましょうとい

う内容で、もちろん描いたカードは持って帰ることができます。カードを描く際には、子供の発想力で驚くような内容のカードをつくってくれるのではないかと今から期待をしております。楽しむ中でも、ルールを守って他者に思いやりをというような協調性、それから、コミュニケーション能力などを育む事業となるよう、講師と今詰めている最中でございます。

次に参りまして、成人に移ります。「メディカルヨガ教室」は、こちらも初めての事業です。和室で行いますけれども、部屋の広さが限られていますので、10人ずつ2回ということで、20名の方にご参加をいただきたいと思っております。なるべく多くの方に整っていただけるような設定にいたしました。

次に、「基礎から学ぶ！健康マージャン講座」です。こちらは、明治安田生命の地域社会貢献活動ということでご提案をいただいた中から当館にて選定をして、この健康麻雀になりました。「賭けない 飲まない 吸わない」のキャッチフレーズの下、健全な麻雀の育成とその普及活動を目的に設立されました日本健康麻将協会推薦講師の方にご指導いただきます。こちらは、字を間違えているわけではなく、「日本健康マージャン協会」と検索をしていたと、この字（「日本健康『麻将』協会」）が出て来ます。

○吉村委員

間違えていないの。

○新高根公民館長

間違えていないです。

高齢者の事業につきましては飛ばしまして、その他に移ります。「音楽サークル ミニ発表会」です。こちらは、前回までは利用者連絡協議会の方が中心となって実行委員形式で開催しておりましたが、先月の5月の総会をもって当館の利用協が解散という形になってしまいました。そこで音楽関係のサークルさんから発表会を開きたいという要望がありましたので、こちらは公民館主催事業として実施をいたします。にぎやかなイベントにしたいという思いで、準備を進めているところです。

最後の館報です。ほかの館は今日お持ちになっているということですが、新高根公民館は今印刷を発注しておりますので、今回持ってくることはできませんでした。申し訳ありません。

新高根公民館は以上です。

○今野委員長

どうもありがとうございました。

この事業計画につきまして、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

どうぞ。

○中澤委員

高根台公民館さんのところで、実施にも計画にも2つともありますけれども、いわゆる地域防災のことで講座が開かれています。夏見さんも防災関係のところでやられています。この講師の方は、高根台公民館さんのところはSL災害ボランティアネットワーク・船橋だけ

れども、夏見さんの場合は市の危機管理課が入っていますよね。昨日、市の防災部会があって、11月29日に市の防災訓練がありますよね。内容が避難所立ち上げ訓練ということなので、市が計画している訓練の内容と違うのかどうか。ちょっと私も分からないのですけれども、この辺がどうなのかなと。この地域の防災訓練は、主管公民館として入れていかなければいけないということなのか。夏見さんはこれでやっていますよね。

○夏見公民館長

そうですね。今、委員からお話がありました防災会議をまさに運営していた側なのでご説明申し上げますと、まず、SL災害ボランティアネットワークさんというのは、市とは切っても切り離せない協働関係にある全国的なセーフティーリーダーの組織として、活動が船橋で立ち上がってからもう20年ぐらいになるのかな。本当に尽力していただいている団体さんです。防災関係のボランティアであったり、SLの隊員育成の講座であったり、地域の中に根差した防災のリーダーの人たちを育てようという趣旨で頑張っていちゃいます。その内容につきましても、本当にバラエティーに富んだ多岐にわたる講座を展開しております。当然ながらその中の訓練そのものが市の訓練と合致するというわけではないですけども、趣旨としましては、そういったものを実現するに当たって、必要な知識や実技を学ぶということを中心に講座をされていると認識しております。

危機管理課や我々夏見公民館でやっているものは、もう少しハードルを下げたものになっていますけれども、むしろ日々の生活の中で取り組むべきことや、公民館をはじめ市のいろいろな防災拠点はどういった役割や機能を持っているんだというところの入り口を見ていただくこと、あとは、人命救助や初動の手技につきましても、本当の初歩の初歩、誰でもができるということを伝えることを目的としてやっていく。あと、忘れてはいけないのが、こういった人たちが地域の中にいて、こういった顔があって、こういう人たちがみんなでいざとなったら協力してやるんですよということを知っていただく機会にしているというところに違いがあるかと思います。

○中澤委員

昨日も、防災部会のところで、市の方針が少し変わってきたんです。立ち上げを市のほうが指導するのではなくて、避難してきた方が自分たちで立ち上げを仕切るということを今年からやろうというふうに変わってきているので、いい方向に変わってきているなと感じました。地域の方が、ここに参加される方はどんな人だろうと、そういう人が避難所訓練のときに来てもらえれば非常にありがたいんですよね。そういう連携があるかなと思って。

○夏見公民館長

今、委員がおっしゃっていただいたことは、まさに今求めている部分、これから必要になってくる部分ということで、以前から避難所運営委員会を各避難所に設置しようということで、市でも登録をして、当夏見地域では、おかげさまで、八栄小学校、夏見台小学校とも避難所運営委員会が設置されて、大分初期からやっています。ただ、地域の自治会やいろいろな団体も人が入れ替わりますので、エッセンスとしてはそういうものが必要だとか、立ち上

げるんだという意識はあったとしても、それが実際できるかということ、やはり避難してきた住民の人たちに一緒に参画してもらわないと動けないよねというのが根底にあって、逆に言えば、市としても、ようやくそういったことを「お願いします」と言えるような情勢になったのかなと感じます。

○中澤委員

あそこに危機管理課が来ていると、みんな消防団とかばかりが派遣されて来ているんですよ。だから、いい方向に向かっているんだなと。ほかの企画していないところでも、避難所立ち上げ訓練のこういう講座をどんどん入れてもらいたいですね。

○夏見公民館長

ありがとうございます。

○高根台公民館長

高根台のほうも、これまでは在宅避難の勧めですとか、トイレはどうしようかというところに個々に取り組んできましたけれども、今回は避難所の運営についてということで、地域の自治会の方などが多く参加していただけているというのが心強いと考えております。

○中澤委員

ぜひそういう方がたくさん出るような講座にしていいただければと思います。

○今野委員長

ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。丹羽さん。

○丹羽副委員長

今、夏見さんの館報をいただいて、世帯数が1万3,077ですか。館報の発行数は1万1,000部になっているじゃないですか。これは配布でお断りになられる方がいるんですか。

○夏見公民館長

ご指摘ごもっともで、大変悩ましいところでして、ちいき新聞で配布をするようになって、正直申し上げますと、以前の一般紙の新聞に折り込んでいた頃に比べると、手に届く数が以前より増えているのは間違いありません。ただ、ちいき新聞は配布できるエリアというのがあります。夏見地区全地域に配布したいという気持ちはあるんですけども、それに対してちいき新聞が請け負える範囲にはやはり抜けている場所があって、それを補うために、例えばホームページの掲載はもちろんですけれども、公民館の窓口にも必ず欠かさないようにしておいて、いろいろな方に手に取っていただく努力はしているのですが、ご指摘のとおり、全てに至らないのが現状です。

○丹羽副委員長

ありがとうございます。

○今野委員長

ほかにはいかがでしょうか。

○長濱委員

高根台公民館の「地球温暖化とは」と「フードロスについて」は、ゼロカーボン推進室とアースドクターふなばしが講師をやられるということで、たまたま私もゼロカーボンの推進委員になっていまして、また、自治会のほうの環境部会長というのも引き受けて、昨年から何をやるかといういろいろ検討をしている中で、5年ずつの計画で、今年また新たにリニューアルしたということで、これはずっと広めていかなければいけないのではないかなという思いでいます。今年は、自治連協も、環境部会としては2050年のゼロカーボンに向けてという取組が今も続いているのですが、新たな5年の目標にいろいろあるので、こういうことをやっていただけると本当にすごいなと。回覧だけ配って終わりとか、どこか掲示板に貼って終わりではなくて、やっぱり一つ一つの団体、一つ一つのところで地道にやっていかないと、このゼロカーボンは達成できないというところがあるので、見てすごいなと思いました。このアースドクターの阿部さんもしっかりやっていただいて、いろいろ我々とタッグを組んでやっていますけれども、公民館がこういうこともしっかりやっていただけるのは大変うれしいなと思っています。私もしっかりやらなければと思っています。ありがとうございました。

○高根台公民館長

ありがとうございます。子供たち向けの環境講座などもありますけれども、今回は成人向けの講座ということで、今、担当のほうの内容を詰めているところです。またチラシなどができましたら、皆様にお渡ししたいと思います。よろしくお願いいたします。

○長濱委員

市のほうは、小学生の4・5・6年生ぐらいを対象に出前講座を昨年からやって、今年度も10校ぐらいやるような形です。中学校の校長会にも、中学生にもぜひ出前講座を設けてほしいという要望を出したりいろいろして、何とか地球温暖化を下げるといふか、頑張っていかなければいけない。やっぱり市民全体でいろいろな機関がいろいろな取組をしていかなければいけないと常々感じているので、ぜひよろしくお願いいたします。

これは高齢者となっていたので、一瞬「えー」と思って。

○高根台公民館長

いえ、成人向けの講座です。

○長濱委員

成人向けで、いっぱい集まるといいなと思います。

○高根台公民館長

よろしくお願いいたします。

○今野委員長

ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

○長濱委員

あと、夏見公民館さんは地元の活動にいろいろご協力いただいて、子どもフェスタや、夏祭りの盆踊りを公民館の講堂で練習していただいて、夏見台中央公園というところで盆踊り

を2日間やるんですけれども、それに参画をしていただけるということで、本当に地域密着型という感じになっていますので、ありがたいなと思います。

○夏見公民館長

ありがとうございます。

○今野委員長

すごい行事ですものね。大変ですよ、短期間にこれだけ。

○夏見公民館長

頑張ります。

○今野委員長

ほかにはいかがですか。

ご質問等がなければ、公民館の事業計画について承認するものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○今野委員長

どうもありがとうございます。では、事業計画を承認いたしました。

「非公開審議」

議題(3)の社会教育関係団体の登録申請については、船橋市情報公開条例第7条第2号の不開示情報(個人に関する情報)を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため非公開となります。

また、非公開審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱第8条第3項の規定に基づき、記載を省略します。

議題(3) 社会教育関係団体の登録申請について 承認済

○今野委員長

以上で今日の議題は終わりでよろしいでしょうか。

連絡事項がありましたら、事務局からお願いいたします。

○事務局(高根台公民館長補佐)

今野委員長、議事進行ありがとうございました。委員の皆様も長時間にわたるご審議ありがとうございました。

報告事項としまして、次回の審議会の日程です。9月16日(水曜日)、午後1時半から、この場所、4階の第4集会室でございます。ご予約に入れていただきますようお願いいたします。

最後に、非公開議事であります社会教育関係団体一覧表(新規)は、いつも回収していただいておりますけれども、今回も回収いたしますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは以上となります。ありがとうございました。

○今野委員長

以上をもちまして、令和８年度第２回高根台公民館運営審議会を閉会いたします。ありがとうございました。お疲れさまでした。

午後２時５０分 閉会